事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　7年　4月　28日　　事業所名　このこのビレッジ西八王子

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○				
	②	職員の配置数は適切である	○			有給休暇なども計画的にとれるよう台帳を作成しています	急な体調不良による欠員もあるので、職員同士がお互いにカバーできる配置を目指します
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			障害特性に応じた介助器具などを整備するようにしています	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			新たな職員にも共有できるよう、会議開催を計画的に実施	定期的に職員会議やケース会議を行い、業務改善について話し合っていいます
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○				毎年、年1回保護者様方にアンケート形式で実施しています
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○				毎年、自己評価を実施し、自教室HPにて結果を公表しています
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○				一昨年度に第三者評価を受審をしており、それを元に業務改善を実施していきます
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			社内の研修機会を計画課します	
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○				独自のアセスメント表、ケア表を元に支援計画を策定しています
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○				
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○				活動内容を事前に打ち合わせ全スタッフで共有するようにしています
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○				マンネリ化しないように季節ごとの活動も取り入れています
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			長期休暇にはじっくり時間をかけた課題に取り組んでいます	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別支援計画改定のタイミングで計画策定します	重症児が主のため、個別活動が中心になりますが、全体活動も取り入れた支援計画を策定するようにしています
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	○			日毎に役割分担を明示化するようにしています	当日の役割、担当業務をボードに表し、コミュニケーション漏れも生まないようにしています
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			タが送迎業務のため、翌朝の実施とすることにしている	個別の支援内容のみならず、共通の制作活動についても、振り返りの中で共有するようにしています
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○				各自、帰宅前に気付きのメモを習慣化し、そのメモを全員に回覧することにしています

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○				
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				主には児童発達支援管理者、主担当看護師に必ず出席するようにしている
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○				年間予定等を学校、及び保護者様を通じ共有し、送迎対応を通して個別の連絡事項等を交換するようにしています
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○				重症児が主の事業所なので、各自の担当医、及び地域機関との連携を取るようにしています
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		就学前の利用施設との連携を取るよう進めています	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○				まだ卒業児童は少数ですが、保護者様を通じて情報提供を行うようにしています
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○			感染症対策を行いながら、可能な範囲で進めていくようにします
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○				
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			保護者様方との個々の連絡網を利用してます	ご利用の都度の連絡帳、またSNSでの連絡網により情報共有するようにしています
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○				
保	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○				契約の際に詳細を説明するとともに、都度ご説明する機会を作るようにしています
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○				
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			感染症対策を行いながら、開催を調整しています

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○				月毎の会報、及び日々の活動はSNSを通じ連絡事項とともに発信しています
	㉟	個人情報に十分注意している	○				
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			感染症予防の観点もありますが、児童のプライバシーの点から本年度も実施はしていません
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○				各種マニュアルは作成済み、定期的に確認をしていきます
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○				定期的な避難訓練などは、継続してきます
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				虐待防止研修は定期的な開催を継続していきます
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				児童の心身の状況に応じて様々なケースを想定して、職員と共通理解しています
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			各自のケア表を準備している	各自の医師の指示書、及び保護者様方からのヒアリングにより、個別のケア表を準備し活用しています
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハットは、適宜職員全員で共有できる仕組みがあります	

この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。